

## 技術提案を記載するにあたっての注意事項

### 1 記載方法について

入札公告に添付されたファイル(「様式4-1」及び「様式4-2-1」から「様式4-2-4」)を必ず使用し、フォーマットに従って1課題当たりの8項目を限度とし、1項目につき1つの提案を記載すること。(A4サイズ1枚に納め、箇条書き)

記載については文字のみを使用し、「技術提案内容」に実施する事項を網羅すること。なお、図表等によって提案を補足する場合は別途1課題当たりA4サイズ1枚の説明資料を添付できる。

フォントサイズは、10ポイント以上とすること。

記入する文字数は、1つのマスあたり、200字(空白や改行も1文字に含む)までとすること。

(評価の対象としない記載方法の例)

- ① 指定した用紙サイズ、フォーマットを用いていない場合。
- ② 指定した項目数(8項目)を超えた提案を行った場合の9項目以降。
- ③ 複数の同様な提案を記載した場合の2つ目以降の提案。
- ④ 同一項目内で複数の提案を記載した場合の2つ目以降の提案。
- ⑤ 1つのマスあたりの文字数が200字を超える提案を行った場合。

### 2 記載内容について

課題に対応した様々な着目点からの提案を記載すること。なお、提案については**契約事項**となるため、実施の可能性や具体性には十分配慮すること。

(評価の対象としない記載内容の例)

- ① 「様式4-2-1」から「様式4-2-4」の「技術提案内容」に具体的な実施方法(目的、場所、範囲、時期、頻度、使用機材、判断基準等)を記載していないもの。(説明資料に記載があっても評価しない。)
- ② 実施するための判断の方法や基準、場所、時期、実施頻度、数量、寸法等が不明確であり、効果が判断できないもの。
- ③ 実施にあたり第三者との協議を要するなど、不確実性を有するもの。
- ④ 実施が曖昧なもの。(「…を必要に応じて行う。」「できる限り…する。」等)
- ⑤ 「共通仕様書」や「施工管理の手引き」に記載された内容と同様のもの(管理基準等を自主的に上乘せ設定したものも含む)。
- ⑥ 設計変更を要するもの。
- ⑦ 図面、仕様書等で明示している工事目的物の仕様、形状、規格の変更(配筋の変更を含む)。
- ⑧ 工事目的物に使用する材料の変更
  - ・コンクリートへの材料等の添加・追加等、仕様・規格・配合の変更
- ⑨ 過度なコスト負担を要する「オーバースペックな技術提案」と判断されるもの。
- ⑩ 標準的な現場管理や安全管理、労働安全衛生に類するもの
  - ・工事看板の設置、補修、清掃や散水 等
- ⑪ 一般的な法令・規則の遵守やマナーの向上に類するもの
  - ・飲酒運転、ポイ捨ての抑止 等
- ⑫ 当該工事と無関係のもの
  - ・地域やボランティア団体等が実施している清掃活動等への参加 等

### 3 提出方法について

- ① 「様式4-1」及び「様式4-2-1」から「様式4-2-4」並びに電子媒体（「様式4-1」及び「様式4-2-1」から「様式4-2-4」（Excel形式）を CD-R等に保存したもの）を、令和8年1月22日（木曜日）から令和8年1月29日（木曜日）までの毎日（県の休日を除く。）、午前9時00分から午後4時30分までに、持参又は郵送により提出すること（郵送は書留郵便に限る。期間内必着）。（入札参加申込時には提出しないこと。）
- ② 説明資料がある場合は、上記①と併せて提出すること。（電子媒体への保存はPDF形式）
- ③ 後日、本工事の施工において採用すると通知された技術提案内容のみを、別紙「様式4-3」及び「様式4-4-1」から「様式4-4-4」に記載の上、入札書提出時に、電子入札システムにより提出すること。（Excel形式にて提出、説明資料の提出は不要）なお、落札者については、契約時に別紙「様式4-3」を提出すること。  
紙入札方式による場合は、入札書提出時に別紙「様式4-3」及び「様式4-4-1」から「様式4-4-4」を持参により提出すること。（説明資料の提出は不要）

### 4 その他

- ① 技術提案に記載した事項は、設計変更の対象とならない。
- ② 上記「2 記載内容」で「（評価の対象としない記載内容）」としているものであっても、現場での実施を妨げるものではない。